

別冊資料

令和3年長崎市観光統計

【確報版】

長 崎 市

・観光客数

長崎市への観光客数は、長崎市が地理的に西の端に位置することに鑑み、長崎市を通過して他都市へ移動する者が少ないと推測し、交通機関別の入込客数に基づき作成している。

長崎市への入込交通機関として、鉄道、自動車、船舶及び長崎空港に到着する航空機を加え、各交通機関別の入込客数を基に、月ごとの観光客割合を考慮して推計している。

ただし、令和2年以降における観光客割合は新型コロナウイルス感染症の影響を加味して推計している。

・宿泊客数・日帰り客数

宿泊客数は市内主要宿泊施設における宿泊客数実績の前年比伸び率を基に推計しており、日帰り客数については全体の観光客数から宿泊客数を減じて算出している。

ただし、令和2年以降における宿泊数および日帰り客数は新型コロナウイルス感染症の影響を加味して推計している。

・個人客数・団体客数(一般・学生)

団体客数(学生)は、市内主要観光施設における団体客数(学生)の前年比伸び率を基に推計しており、団体客数(一般)は、観光客数に日本人観光客動向調査の旅行形態内の団体旅行の割合を掛け算出している。また、個人客数については全体の観光客数から団体客数を減じて算出している。

・外国人延べ宿泊客数(国・地域別)

市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。

・MICE統計(MICE件数・MICE参加人員)

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会において、MICE受入施設への聞き取り調査等に基づき算出している。

・観光消費額・経済波及効果

一般観光客の観光消費額は、観光動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を3か年平均して、宿泊・日帰り別／一般・学生別の観光客数に乗じて算出している。

学生観光客の観光消費額は、「教育旅行年報」(日本修学旅行協会発行)における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の観光客数に乗じて算出している。

目 次

1	令和3年の観光動向	1
2	観光統計総括表	5
3	観光客数・観光消費額の推移	6
4	月別観光客数	8
5	宿泊客・日帰り客の推移	9
6	個人客・団体客の推移	10
7	交通機関別観光客数の推移	11
8	クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数	12
9	外国人延べ宿泊者数の推移	14
10	国・地域別外国人延べ宿泊者数	15
11	MICE統計	17
12	経済波及効果	21
— 参考資料 —		
1	観光客数の推移	23
2	主要観光施設の入場者数	24
3	主要イベントの集客数及び経済波及効果	24
4	宿泊施設の状況	25

1 令和3年の観光動向

(1) 全国の観光動向

日本人国内旅行消費額			
9兆1,835億円	前年比7.9%減	(7,903億円減)	
① 宿泊旅行	6兆9,925億円	前年比10.0%減	(7,798億円減)
② 日帰り旅行	2兆1,910億円	前年比0.5%減	(105億円減)
日本人国内延べ旅行者数			
2億6,821万人	前年比8.6%減	(2,520万人減)	
① 宿泊旅行	1億4,177万人	前年比11.8%減	(1,893万人減)
② 日帰り旅行	1億2,644万人	前年比4.7%減	(627万人減)
日本人国内旅行1人あたり旅行単価			
34,240円	前年比0.7%増	(247円増)	
① 宿泊旅行	49,323円	前年比2.0%増	(958円増)
② 日帰り旅行	17,328円	前年比4.5%増	(739円増)

日本人の国内旅行消費額は、前年比7.9%減(7,903億円減)の9兆1,835億円であった。日本人の国内延べ旅行者数は、宿泊旅行が前年比11.8%減(1,893万人減)の1億4,177万人、日帰り旅行が前年比4.7%減(627万人減)の1億2,644万人で、全体として前年比8.6%減(2,520万人減)の2億6,821万人となり、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価は前年比0.7%増(247円増)の34,240円となった。

(出典)観光庁「旅行・観光消費動向調査」2021年年間値(確報)

訪日外客数	
24万5,900人	前年比94.0%減(約387万人減)

令和3年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は、前年比94.0%減(約387万人減)の24万5,900人と激減した。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光目的の入国が引き続き認められていないことによるもので、2021年計は2020年をも下回り、訪日外客数公表開始(1964年)以来最低の数値となった。

(出典)日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数(2021年12月および年間推計値)」

外国人延べ宿泊者数

431万7,140人泊 前年比78.8%減(約1,603万人泊減)

外国人延べ宿泊者数は、前年比78.8%減(約1,603万人泊減)の431万7,140人であった。
また、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位がアメリカ(約71万人泊、シェア20.5%)、第2位以下は中国(約33万人泊、シェア9.5%)、ベトナム(約22万人泊、シェア6.4%)、フィリピン(約22万人泊、シェア6.4%)、英国(約11万人泊、シェア3.2%)と続き、上位5か国・地域で全体の約46.0%を占める。

※国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、従業者数10人以上の施設に対する調査から作成されており、全体で343万8,420人泊となっている。

(出典)観光庁「宿泊旅行統計調査(令和3年年間値(確定値))」

訪日外国人旅行消費額

1,208億円 前年比83.8%減(6,238億円減)

訪日外国人の旅行消費額は前年比83.8%減(6,238億円減)の1,208億円と大幅に減少した。

- ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光庁が例年実施している「訪日外国人消費動向調査」は10-12月期のみ実施し、1-3月期、4-6月期、7-9月期が中止となったため、2021年訪日外国人の旅行消費額は例年と異なる推計となっている。
- ※ 訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出や、国籍・地域別の旅行消費額については、出典元の観光庁が非公開のため未記載とする。

(出典)観光庁「2021年の訪日外国人旅行消費額(試算値)」

(2) 長崎市の観光動向

観光客数			
258万5,700人	前年比1.0%増	(2万5,100人増)	
① 宿泊客数	114万2,400人	前年比 1.5%減	(1万7,600人減)
日帰り客数	144万3,300人	前年比 3%増	(4万2,700人増)
② 個人客数	227万7,200人	前年比 3%増	(6万6,700人増)
団体客数	30万8,500人	前年比 11.9%減	(4万1,600人減)
┌ 一般団体客数	9万500人	前年比59.7%減	(13万4,000人減)
└ 学生団体客数(修学旅行生)	21万8,000人	前年比73.6%増	(9万2,400人増)
外国人延べ宿泊客数			
1万4,049人泊	前年比62.9%減	(2万3,791人泊減)	
クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数			
入港数	1隻	前年比90%減	(9隻減)
乗客・乗務員数	547人	前年比98.8%減	(4万4,802人減)
国内クルーズ船	入港数	1隻	前年比100%増 (1隻増)
	乗客・乗務員数	547人	前年比100%増 (547人増)
国際クルーズ船	入港数	0隻	前年比100%減 (10隻減)
	乗客・乗務員数	0人	前年比100%減 (4万5,349人減)

観光消費額			
615億5,197万円	前年比 0.8%増	(約5億円増)	
経済波及効果(長崎県内)			
907億円	前年比 1.9%増	(約17億円増)	
観光客1人あたり市内観光消費額			
平均	23,805円	前年比 0.2%減	(43円減)
宿泊客	35,848円	前年比 1.1%増	(382円増)
日帰り客	14,272円	前年比 0.3%増	(46円増)

令和3年の長崎市の観光客数は前年比1%増(2万5,100人増)の258万5,700人で、過去11番目に少ない観光客数となり、令和2年に引き続き300万人を下回る結果となった。

このうち日帰り客数は前年比3%増(4万2,700人増)の144万3,300人、宿泊客数は前年比1.5%減(1万7,600人減)の114万2,400人となった。

また、旅行形態別にみると、個人客数が前年比3%増(6万6,700人増)の227万7,200人、団体客数が前年比11.9%減(4万1,600人減)の30万8,500人となった。

外国人延べ宿泊客数については、前年比62.9%減(2万3,791人泊減)の1万4,049人泊となり、前年をさらに下回る結果となった。

令和3年の観光消費額は、前年比約0.8%増（約5億円増）の615億5,197万円で前年を上回った。また、長崎県内への経済波及効果については、前年比1.9%増（17億円増）の907億円となった。以上の観光動向に影響を与えた要因を以下のとおり分析した。

【主な要因】

■ 新型コロナウイルス感染症の影響

令和元年12月、中華人民共和国で新型コロナウイルス感染症が確認されて以来、ワクチン接種が普及しているが、新たな変異株の発生を受け感染者数が後を絶たない。また、国際的にも当該感染症拡大防止策の一環として国境をまたぐ往来が制限され、日本政府観光局による訪日外客数が、公表開始（1964年）以来最低の数値となった。

国内においても令和3年には2回の緊急事態宣言がなされ、人流の抑制や、緊急事態宣言解除後も度重なる当該感染症拡大の波による全国的な移動自粛傾向の影響から、観光客数は当該感染症流行以前と比べ、減少しているままである。

長崎市においても、県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置がなされ、①令和3年4月28日～6月7日②8月10日～9月12日の期間について、施設の閉館を余儀なくされた。

さらに、全国屈指のクルーズ船寄港地である本市においては、当該感染症拡大に伴うクルーズ船運休の影響が顕著であり、令和3年のクルーズ客船の入港は、令和元年比約99.9%減（73万1,991人減）となった。

結果として、令和3年の長崎市の宿泊客数は、令和2年と比べると1.5%の微減であったものの、当該感染症流行以前の令和元年の数値と比べると、約57.8%減（約156万人減）となった。

【その他の要因】

■ 県および市の宿泊割引キャンペーンの実施

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、失われた旅行需要の喚起を図るため、長崎県が県民を対象とした「ふるさとで“心呼吸”の旅キャンペーン（第1弾）」を令和3年3月8日～12月31日、「第2弾 ふるさとで“心呼吸”の旅キャンペーン」を令和3年4月15日～令和4年9月30日まで実施予定（※感染拡大により停止期間有）。また、長崎市も独自の施策として、県民を対象とした「お得に泊まって長崎市観光キャンペーン」を令和2年10月1日～令和3年4月30日まで実施し、域内外の需要に対し宿泊助成による地域経済の活性化を図った。令和3年12月15日からは、長崎県が実施しているキャンペーンの利用対象者を隣県の福岡県、佐賀県、熊本県の県民にも拡大し、当該感染症の影響を受ける県内観光産業の回復を図った。

■ 大型施設の新オープン

令和3年10月29日に、恐竜に特化した博物館としては、国内3か所目となる「長崎市恐竜博物館」が長崎市野母町に開館した。また、令和3年11月1日には、イベント・展示ホール、コンベンションホール、会議室及び駐車場から構成される交流拠点施設、「出島メッセ長崎」が開業し、令和3年は488件（令和2年278件、前年比75.5%）、268,341名（令和2年69,775名、前年比284.6%）が大会・会議に参加した。

■ 令和3年10月～12月延べ宿泊客数の増加

国の緊急事態宣言が令和3年9月30日に解除されたことに伴い、人流の抑制が緩和され、令和3年11月以降には、九州内の学校を中心とした修学旅行の振替需要や、出島メッセ長崎開業イベント関係者の宿泊、ビジネス客の宿泊需要の回復等により、延べ宿泊客数が前年同月と比べ増加した。

2 観光統計総括表

【単位：人、億円、%】

		令和2年	令和3年	【単位：人、億円、%】	
				構成比	前年比増減
観光客数		2,560,600	2,585,700	100.0	1.0
宿泊の有無別	宿泊客数	1,160,000	1,142,400	44.2	▲1.5
	日帰り客数	1,400,600	1,443,300	55.8	3.0
旅行形態別	個人客数	2,210,500	2,277,200	88.1	3.0
	団体客数	350,100	308,500	11.9	▲11.9
	一般	224,500	90,500	3.5	▲59.7
	学生	125,600	218,000	8.4	73.6
交通機関別	J R	536,300	556,600	21.5	3.8
	自動車	1,595,200	1,625,200	62.9	1.9
	船舶	113,500	69,800	2.7	▲38.5
	航空機	315,600	334,100	12.9	5.9
観光消費額		611	616		0.8
経済波及効果		890	907		17

3 観光客数・観光消費額の推移

【単位：人、千円、％】

年	観光客数	前年比増減		観光消費額	前年比増減	
平成19年	5,640,900	▲ 58,400	▲ 1.0	77,422,055	▲ 299,664	▲ 0.4
平成20年	5,559,500	▲ 81,400	▲ 1.4	75,890,453	▲ 1,531,602	▲ 2.0
平成21年	5,585,600	26,100	0.5	75,101,615	▲ 788,838	▲ 1.0
平成22年	6,108,300	522,700	9.4	110,880,935	35,779,320	47.6
平成23年	5,944,700	▲163,600	▲ 2.7	109,766,697	▲ 1,114,238	▲ 1.0
平成24年	5,952,900	8,200	0.1	115,446,919	5,680,222	5.2
平成25年	6,078,000	125,100	2.1	120,320,106	4,873,187	4.2
平成26年	6,306,800	228,800	3.8	124,323,000	4,002,894	3.3
平成27年	6,693,800	387,000	6.1	136,834,458	12,511,458	10.1
平成28年	6,723,500	29,700	0.4	131,378,500	▲5,455,958	▲ 4.0
平成29年	7,077,700	354,200	5.3	145,846,150	14,467,650	11.0
平成30年	7,055,400	▲ 22,300	▲ 0.3	149,689,454	3,843,304	2.6
令和元年	6,917,800	▲137,600	▲ 2.0	149,189,702	▲ 499,752	▲ 0.3
令和2年	2,560,600	▲4,357,200	▲63.0	61,066,048	▲88,123,654	▲59.1
令和3年	2,585,700	25,100	1.0	61,551,969	485,921	0.8

※ 観光消費額は、平成22年から次のとおり基礎数値を見直して算定している。
 (旧)平成12年度の一泊宿泊時の平均消費額 (新)連泊を考慮した宿泊客全体の平均消費額

図1 観光客数・観光消費額の推移

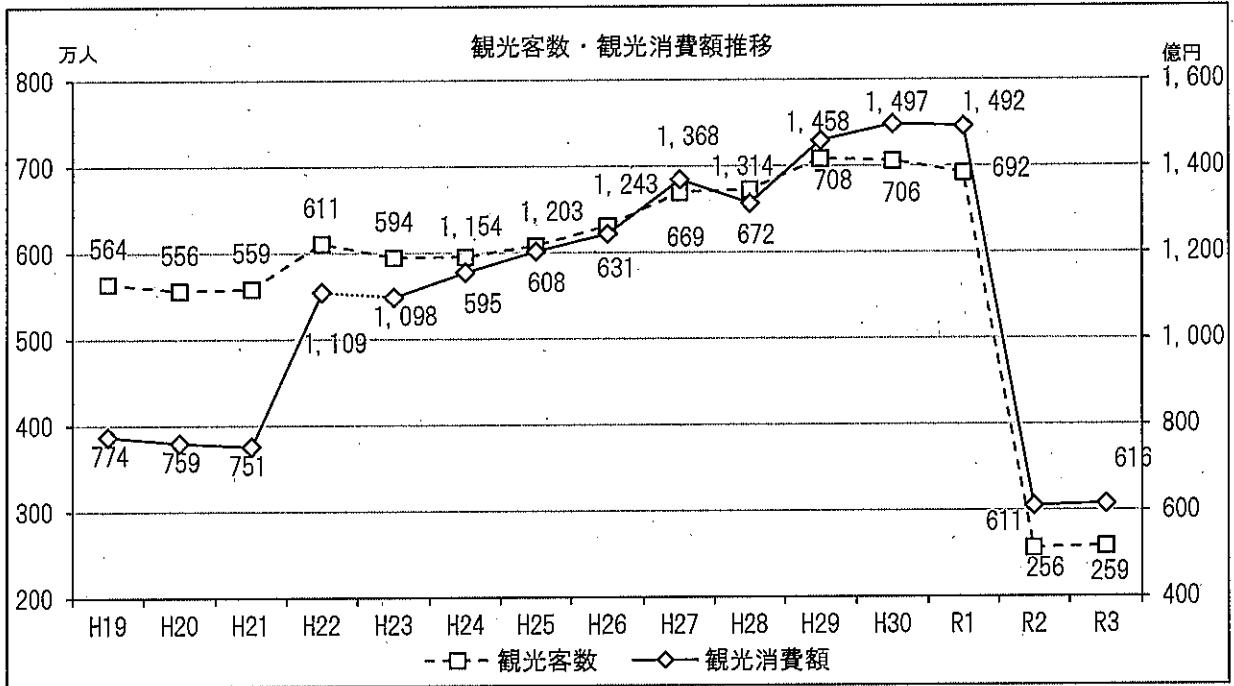
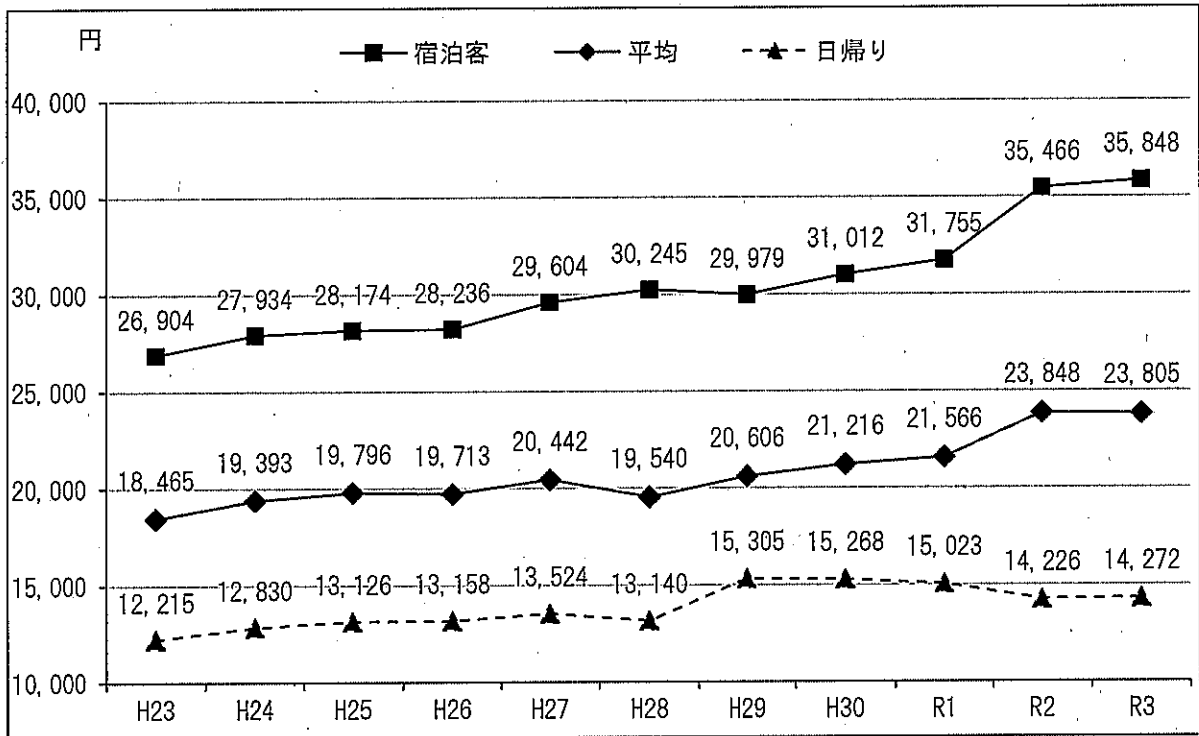


図2 平均観光消費単価の推移

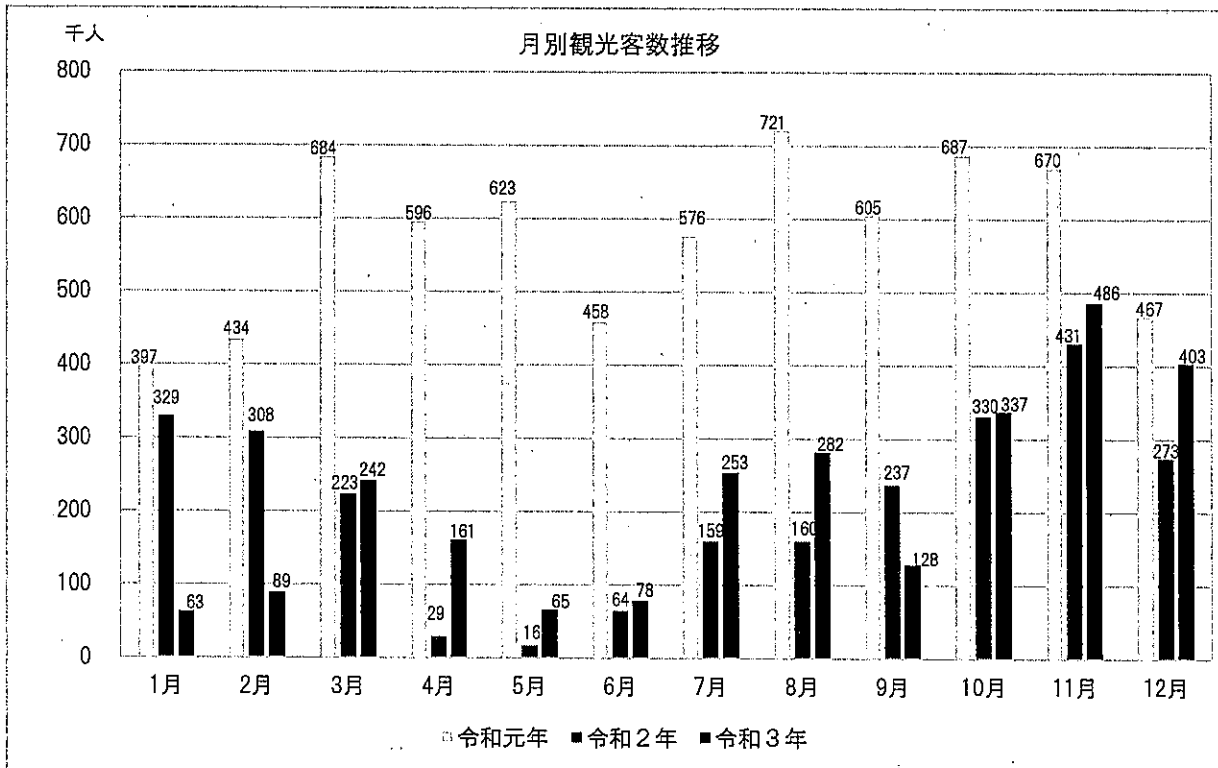


4 月別観光客数

【単位：人、％】

月	令和元年	令和2年	令和3年	構成比	
				構成比	前年比増減
1月	397,200	329,300	62,700	2.4	▲81.0
2月	433,900	308,400	88,900	3.5	▲71.2
3月	683,700	223,300	241,500	9.3	8.2
4月	595,500	29,000	161,000	6.2	455.2
5月	623,200	16,400	65,300	2.5	298.2
6月	458,400	64,300	77,800	3.0	21.0
7月	576,300	159,300	252,900	9.8	58.8
8月	720,500	159,600	281,500	10.9	76.4
9月	604,800	236,800	128,000	5.0	▲45.9
10月	687,400	330,400	336,900	13.0	2.0
11月	669,600	430,500	485,900	18.8	12.9
12月	467,300	273,300	403,300	15.6	47.6
計	6,917,800	2,560,600	2,585,700	100.0	1.0

図3 月別観光客数の推移

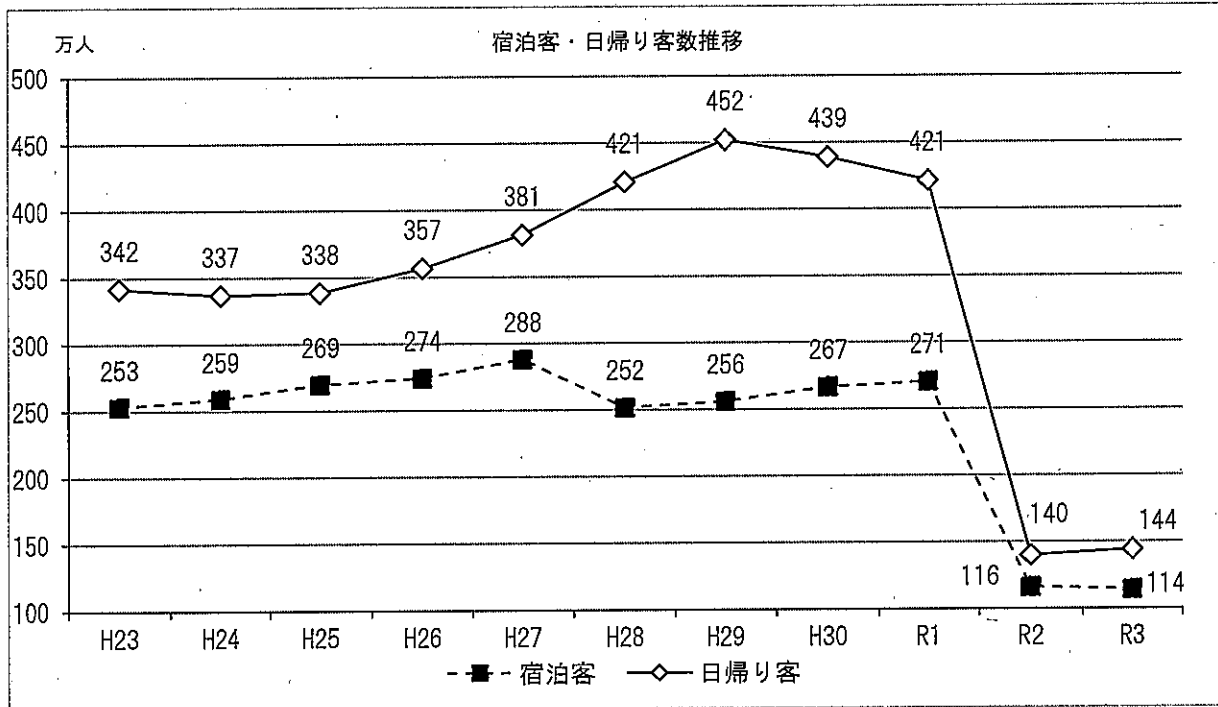


5 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客			日帰り客		
	人数	構成比	前年比増減	人数	構成比	前年比増減
平成19年	2,521,500	44.7	▲0.5	3,119,400	55.3	▲1.5
平成20年	2,460,100	44.3	▲2.4	3,099,400	55.7	▲0.6
平成21年	2,401,700	43.0	▲2.4	3,183,900	57.0	2.7
平成22年	2,557,700	41.9	6.5	3,550,600	58.1	11.5
平成23年	2,529,300	42.5	▲1.1	3,415,400	57.5	▲3.8
平成24年	2,586,800	43.5	2.3	3,366,100	56.5	▲1.4
平成25年	2,694,100	44.3	4.1	3,383,900	55.7	0.5
平成26年	2,741,500	43.5	1.8	3,565,300	56.5	5.4
平成27年	2,879,800	43.0	5.0	3,814,000	57.0	7.0
平成28年	2,515,700	37.4	▲12.6	4,207,800	62.6	10.3
平成29年	2,556,900	36.1	1.6	4,520,800	63.9	7.4
平成30年	2,665,600	37.8	4.3	4,389,800	62.2	▲2.9
令和元年	2,705,200	39.1	1.5	4,212,600	60.9	▲4.0
令和2年	1,160,000	45.3	▲57.1	1,400,600	54.7	▲66.8
令和3年	1,142,400	44.2	▲1.5	1,443,300	55.8	3.0

図4 宿泊客・日帰り客の推移

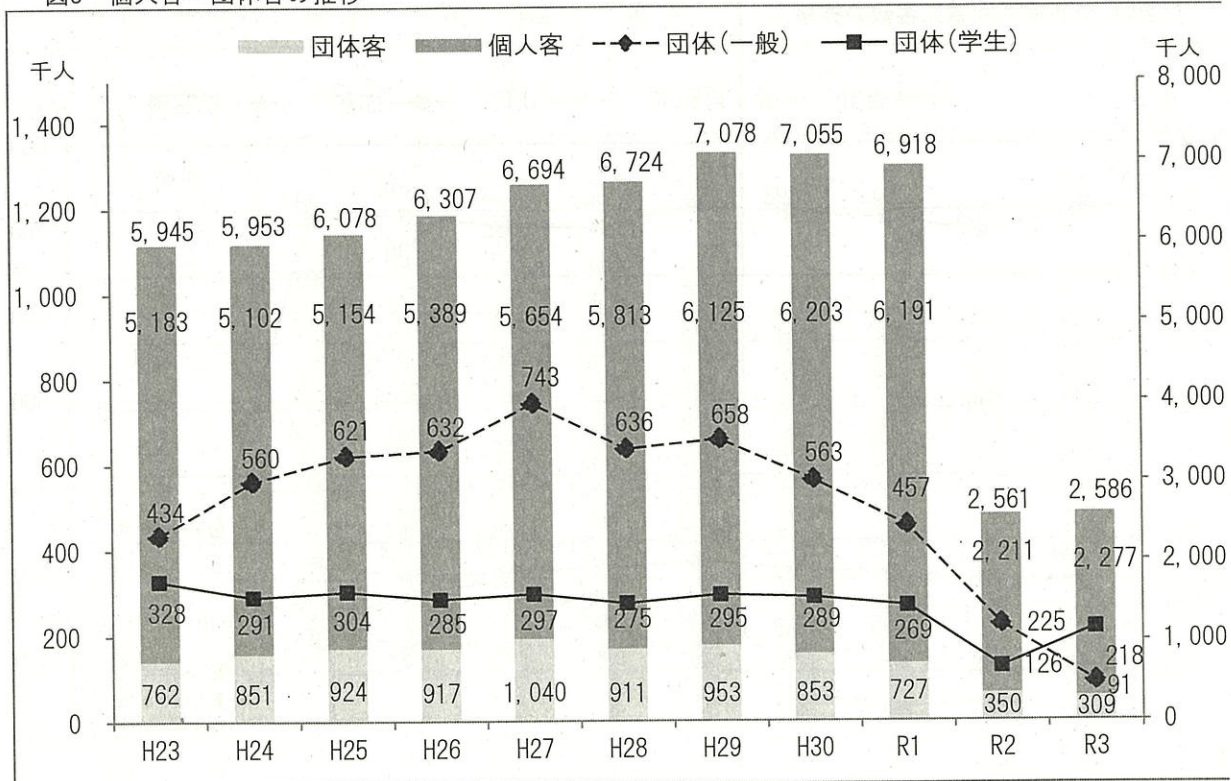


6 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

年	個人客		団体客		一般		学生	
	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減
平成19年	4,839,000	▲1.0	801,900	▲1.0	535,500	0.5	266,400	▲3.8
平成20年	4,779,800	▲1.2	779,700	▲2.8	508,000	▲5.1	271,700	2.0
平成21年	4,863,800	1.8	721,800	▲7.4	430,500	▲15.3	291,300	7.2
平成22年	5,256,900	8.1	851,400	18.0	558,300	29.7	293,100	0.6
平成23年	5,182,900	▲1.4	761,800	▲10.5	434,000	▲22.3	327,800	11.8
平成24年	5,102,100	▲1.6	850,800	11.7	560,300	29.1	290,500	▲11.4
平成25年	5,154,000	1.0	924,000	8.6	620,500	10.7	303,500	4.5
平成26年	5,389,400	4.6	917,400	▲0.7	632,200	1.9	285,200	▲6.0
平成27年	5,653,900	4.9	1,039,900	13.4	742,600	17.5	297,300	4.2
平成28年	5,812,600	2.8	910,900	▲12.4	636,300	▲14.3	274,600	▲7.6
平成29年	6,124,800	5.4	952,900	4.6	658,100	3.4	294,800	7.4
平成30年	6,202,900	1.3	852,500	▲10.5	563,300	▲14.4	289,200	▲1.9
令和元年	6,191,200	▲0.2	726,600	▲14.8	457,200	▲18.8	269,400	▲6.8
令和2年	2,210,500	▲64.3	350,100	▲51.8	224,500	▲50.9	125,600	▲53.4
令和3年	2,277,200	3.0	308,500	▲11.9	90,500	▲59.7	218,000	73.6

図5 個人客・団体客の推移

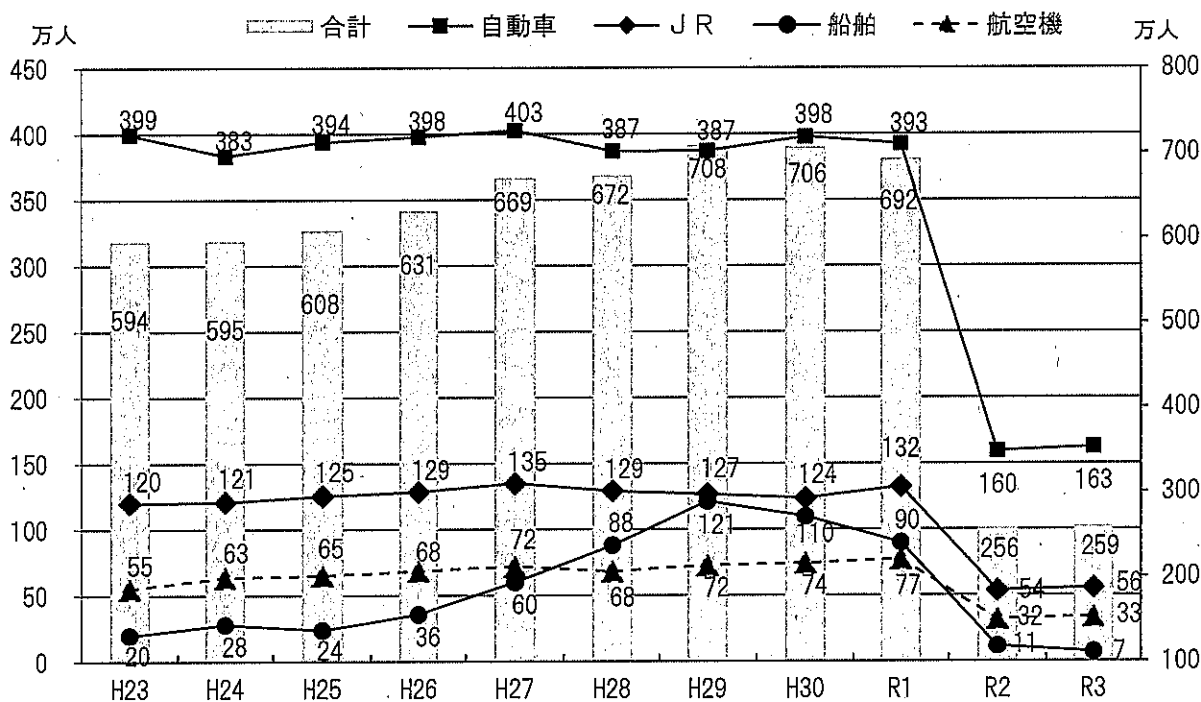


7 交通機関別観光客数の推移

【単位：人、％】

年	JR		自動車		船舶		航空機	
	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減
平成19年	1,260,200	▲2.9	3,566,000	1.0	219,400	▲8.3	595,300	▲5.9
平成20年	1,262,500	0.2	3,533,800	▲0.9	191,400	▲12.8	571,800	▲3.9
平成21年	1,191,600	▲5.6	3,639,000	3.0	222,100	16.0	532,900	▲6.8
平成22年	1,260,400	5.8	4,074,700	12.0	242,200	9.0	531,000	▲0.4
平成23年	1,201,900	▲4.6	3,994,900	▲2.0	198,300	▲18.1	549,600	3.5
平成24年	1,207,900	0.5	3,832,000	▲4.1	278,300	40.3	634,700	15.5
平成25年	1,253,900	3.8	3,938,700	2.8	236,500	▲15.0	648,900	2.2
平成26年	1,285,800	2.5	3,979,300	1.0	358,500	51.6	683,200	5.3
平成27年	1,347,700	4.8	4,028,300	1.2	600,600	67.5	717,200	5.0
平成28年	1,291,700	▲4.2	3,870,900	▲3.9	879,200	46.4	681,700	▲4.9
平成29年	1,266,400	▲2.0	3,872,800	0.1	1,213,600	38.0	724,900	6.3
平成30年	1,236,000	▲2.4	3,979,400	2.8	1,098,200	▲9.5	741,800	2.3
令和元年	1,323,300	7.0	3,926,200	▲1.3	897,700	▲18.3	770,600	3.9
令和2年	536,300	▲59.5	1,595,200	▲59.4	113,500	▲87.4	315,600	▲59.0
令和3年	556,600	3.8	1,625,200	1.9	69,800	▲38.5	334,100	5.9

図6 交通機関別観光客数の推移



8 クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

(1) 国内・国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和元年		令和2年		令和3年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	183隻	732,538	10隻	45,349	1隻	547	▲98.8

(2) 国内クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和元年		令和2年		令和3年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	4隻	3,272	0隻	0	1隻	547	100.0

(3) 国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

① 乗客数

【単位：人、％】

順位	令和元年		令和2年		令和3年		
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	構成比
1	中国	460,104	中国	34,331	-	-	-
2	台湾	18,094	日本	253	-	-	-
3	日本	17,116	モンゴル	82	-	-	-
4	アメリカ	14,997	アメリカ	71	-	-	-
5	オーストラリア	8,598	台湾	41	-	-	-
-	その他	28,674	その他	236	-	-	-
計	-	547,583	-	35,014	-	-	-

② 乗務員数

【単位：人、％】

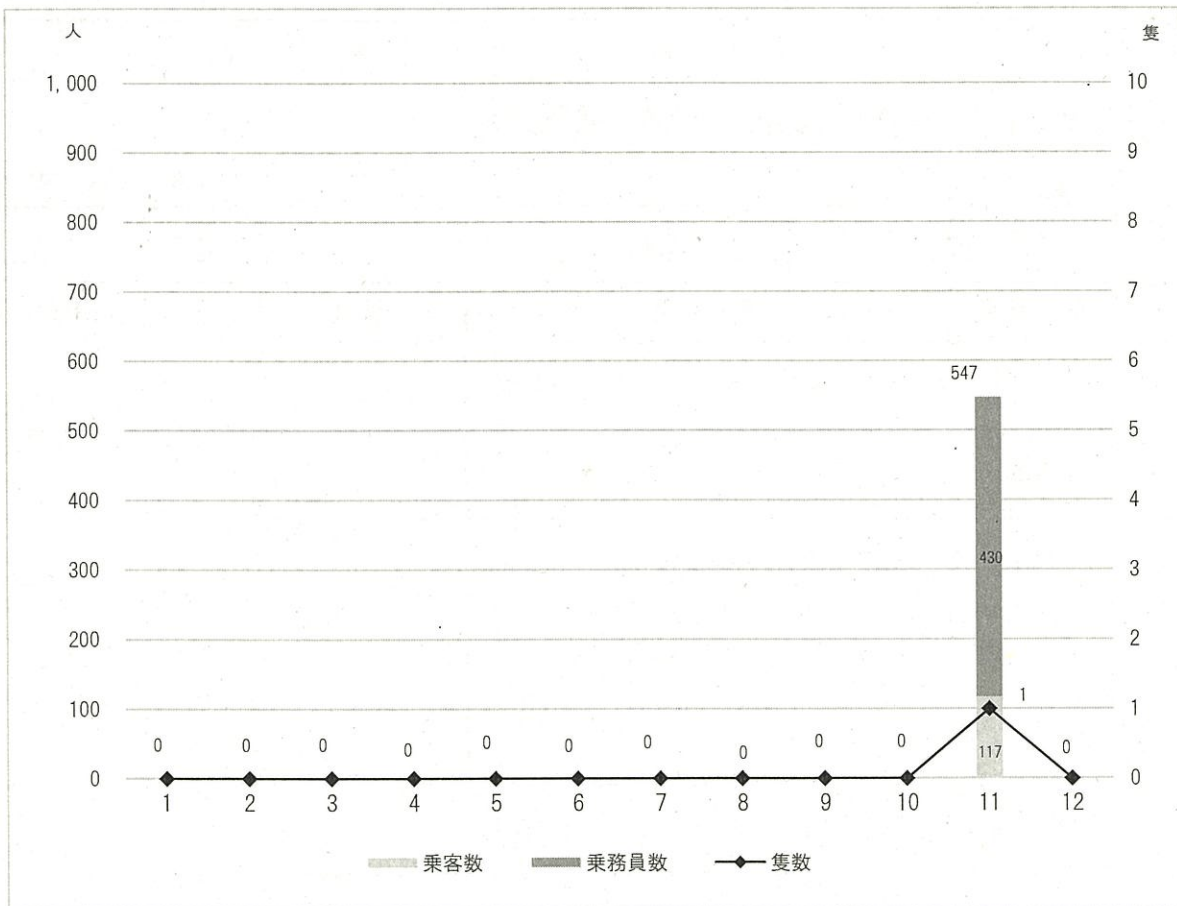
	令和元年		令和2年		令和3年		
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	前年比増減
計	-	181,683	-	10,335	-	0	▲100.0

③ 乗客・乗務員数(①+②)

【単位：隻、人、％】

	令和元年		令和2年		令和3年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	179隻	729,266	10隻	45,349	0隻	0	▲100.0

図7 月別クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

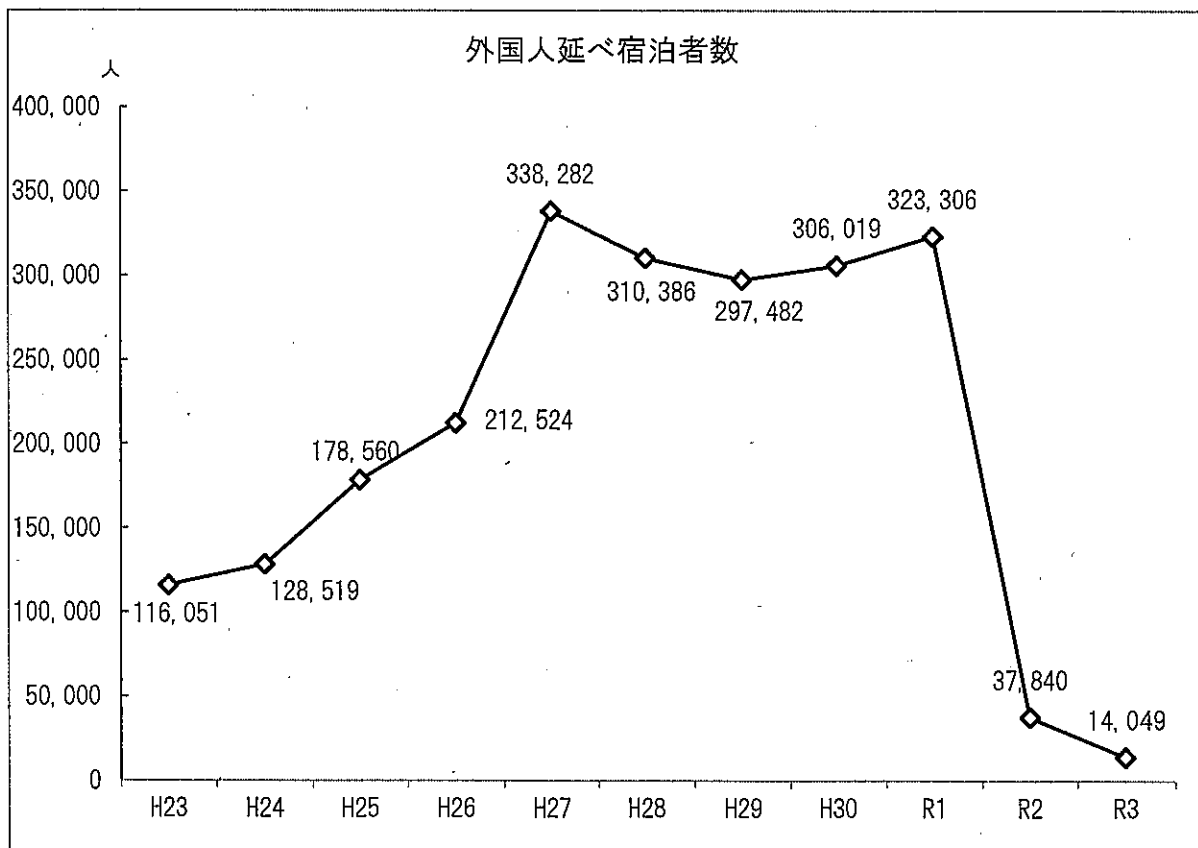


9 外国人延べ宿泊者数の推移

【単位：人泊、％】

年	外国人延べ宿泊者数	前年比増減
平成19年	166,750	22.1
平成20年	167,294	0.3
平成21年	163,395	▲ 2.3
平成22年	164,335	0.6
平成23年	116,051	▲29.4
平成24年	128,519	10.7
平成25年	178,560	38.9
平成26年	212,524	19.0
平成27年	338,282	59.2
平成28年	310,386	▲ 8.2
平成29年	297,482	▲ 4.2
平成30年	306,019	2.9
令和元年	323,306	5.6
令和2年	37,840	▲88.3
令和3年	14,049	▲62.9

図8 外国人延べ宿泊者数の推移

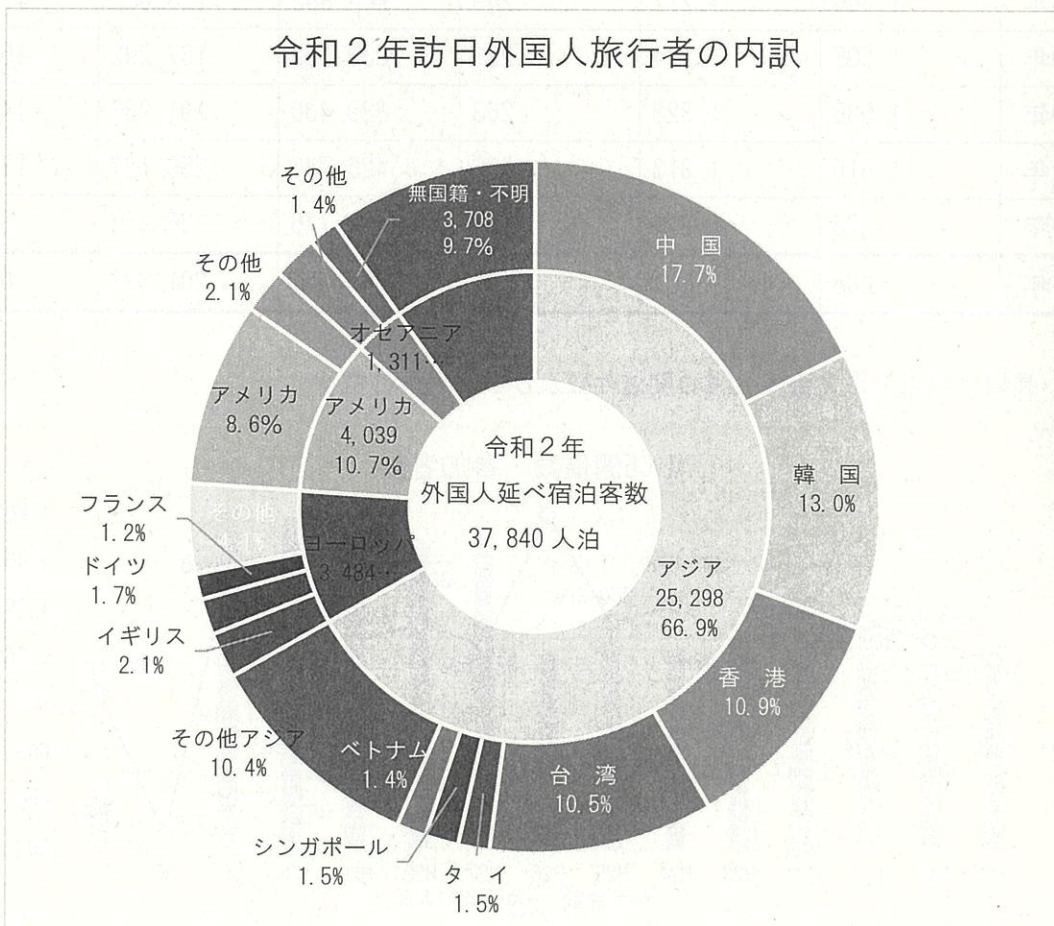
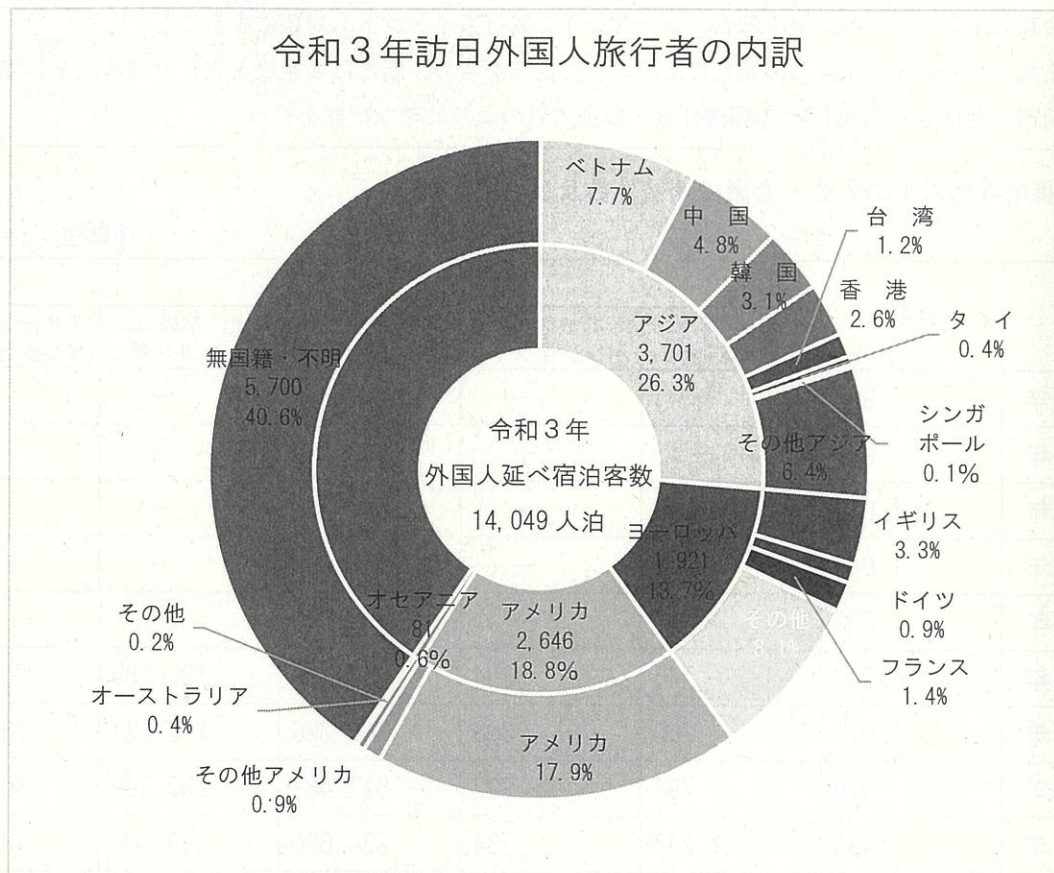


10 国・地域別外国人延べ宿泊者数

【単位：人泊、％】

順位	令和元年		令和2年		令和3年			
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	構成比	前年比増減
1	韓国	58,454	中国	6,682	アメリカ	2,520	17.9	▲22.6
2	中国	56,029	韓国	4,917	ベトナム	1,077	7.7	103.2
3	香港	38,667	香港	4,121	中国	676	4.8	▲89.9
4	台湾	37,730	台湾	3,981	イギリス	460	3.3	▲42.5
5	アメリカ	13,837	アメリカ	3,255	韓国	438	3.1	▲91.1
6	タイ	8,697	インドネシア	958	香港	370	2.6	▲91.0
7	オーストラリア	8,083	フィリピン	905	フィリピン	279	2.0	▲69.2
8	イギリス	7,565	イギリス	800	フランス	203	1.4	▲55.5
9	シンガポール	7,307	オーストラリア	794	台湾	162	1.2	▲95.9
10	マレーシア	7,177	マレーシア	739	ドイツ	129	0.9	▲79.7
11	ドイツ	6,983	ドイツ	635	インドネシア	86	0.6	▲91.0
12	フィリピン	4,882	シンガポール	584	オーストラリア	58	0.4	▲92.7
13	フランス	4,623	タイ	557	タイ	57	0.4	▲89.8
14	カナダ	3,136	ベトナム	530	マレーシア	43	0.3	▲94.2
15	インドネシア	2,101	フランス	456	インド	43	0.3	230.8
-	その他	58,035	その他	7,926	その他	7,448	53.1	▲6.0
計		323,306		37,840		14,049	100.0	▲62.9

図9 国・地域別外国人延べ宿泊者数構成



11 MICE統計

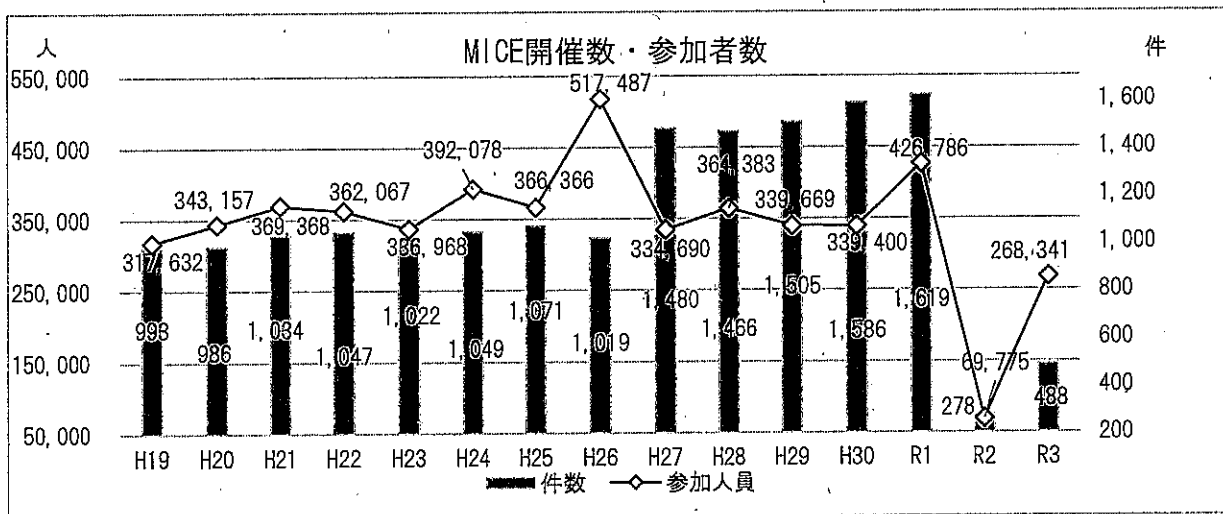
令和3年から、イベント・舞台・コンサートの興行系イベントも対象にすることとした。
 また、令和3年11月に開業した出島メッセ長崎を含め、新たに8施設を調査対象施設として、
 長崎市で開催されるMICEの開催件数・参加人員のよりの確な把握を行っている。

(1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

年	件数	参加人員	
		文化・学術コンベンション等	スポーツコンベンション
平成19年	993	—	—
平成20年	986	—	—
平成21年	1,034	—	—
平成22年	1,047	—	—
平成23年	1,022	—	—
平成24年	1,049	745	304
平成25年	1,071	768	303
平成26年	1,019	797	222
平成27年	1,480	1,246	234
平成28年	1,466	1,217	249
平成29年	1,505	1,214	291
平成30年	1,586	1,323	263
令和元年	1,619	1,313	306
令和2年	278	214	64
令和3年	488	351	137

図10 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員の推移



(2) 規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和 2年	令和 3年	構成比	前年比増減	令和 2年	令和 3年	構成比	前年比増減
100人未満	118	103	29.3	▲12.7	6,333	5,291	2.6	▲16.5
100人以上～ 300人未満	77	140	39.9	81.8	10,921	21,563	10.7	97.4
300人以上～ 500人未満	13	30	8.6	130.8	4,670	10,539	5.2	125.7
500人以上～ 1,000人未満	2	38	10.8	1800.0	1,400	26,504	13.1	1793.1
1,000人以上～ 2,000人未満	2	32	9.1	1500.0	2,600	41,319	20.5	1489.2
2,000人以上	2	8	2.3	300.0	11,032	96,656	47.9	776.1
計	214	351	100.0	64.0	36,956	201,872	100.0	446.2

注)

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和 2年	令和 3年	構成比	前年比増減	令和 2年	令和 3年	構成比	前年比増減
100人未満	6	19	13.9	216.7	426	1,165	1.8	173.5
100人以上～ 300人未満	26	57	41.6	119.2	4,376	9,599	14.5	119.4
300人以上～ 500人未満	12	19	13.9	58.3	4,091	7,188	10.8	75.7
500人以上～ 1,000人未満	10	22	16.1	120.0	6,511	14,107	21.2	116.7
1,000人以上 ～2,000人未 満	7	15	10.9	114.3	7,665	18,900	28.4	146.6
2,000人以上	3	5	3.6	66.7	9,750	15,510	23.3	59.1
計	64	137	100.0	114.1	32,819	66,469	100.0	102.5

注)

注) ・令和3年より、イベント・舞台・コンサートの興行系イベントも対象とした。

・令和3年より、開業した出島メッセ長崎を含め、新たに8施設を調査対象施設とした。

(3) 大会規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、%】

規模	件数				参加人員			
	令和 2年	令和 3年	構成比	前年比増減	令和 2年	令和 3年	構成比	前年比増減
県内大会	183	267	76.1	45.9	24,923	153,166	75.9	514.6
九州大会	16	47	13.4	193.8	2,774	29,329	14.5	957.3
西日本大会	2	2	0.6	0.0	400	4,833	2.4	1108.3
全国大会	13	32	9.1	146.2	8,859	14,144	7.0	59.7
国際大会	0	3	0.8	皆増	0	400	0.2	皆増
計	214	351	100.0	64.0	36,956	201,872	100.0	446.2

注)

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、%】

規模	件数				参加人員			
	令和 2年	令和 3年	構成比	前年比増減	令和 2年	令和 3年	構成比	前年比増減
県内大会	56	111	81.0	98.2	26,269	55,905	84.1	112.8
九州大会	6	24	17.6	300.0	5,950	8,664	13.0	45.6
西日本大会	0	1	0.7	皆増	0	1,300	2.0	皆増
全国大会	2	1	0.7	▲50.0	600	600	0.9	0.0
国際大会	0	0	0.0	-	0	0	0.0	-
計	64	137	100.0	114.1	32,819	66,469	100.0	102.5

注)

(4) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、%】

月	件数			参加人員		
	令和2年	令和3年	構成比	令和2年	令和3年	構成比
1月	101	9	1.9	27,055	3,520	1.3
2月	39	6	1.2	7,155	1,066	0.4
3月	9	38	7.8	623	12,367	4.6
4月	2	29	5.9	110	13,046	4.9
5月	5	36	7.4	326	7,855	2.9
6月	10	63	12.9	1,482	19,857	7.4
7月	22	46	9.4	2,737	26,398	9.8
8月	19	28	5.7	4,181	11,358	4.2
9月	15	22	4.5	2,830	8,039	3.0
10月	18	42	8.6	11,387	18,131	6.8
11月	30	97	19.9	10,089	87,863	32.8
12月	8	72	14.8	1,800	58,841	21.9
計	278	488	100.0	69,775	268,341	100.0

注)

12 経済波及効果

直接効果から間接2次波及効果までを合計した総合効果907億円が、「令和3年に長崎市を訪れた観光客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）546億円の約1.66倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で10,616人と推計され、産業部門別で効果が大きいのは「飲食・娯楽サービス(5,145人)」、「宿泊業(1,696人)」、「商業(1,559人)」である。

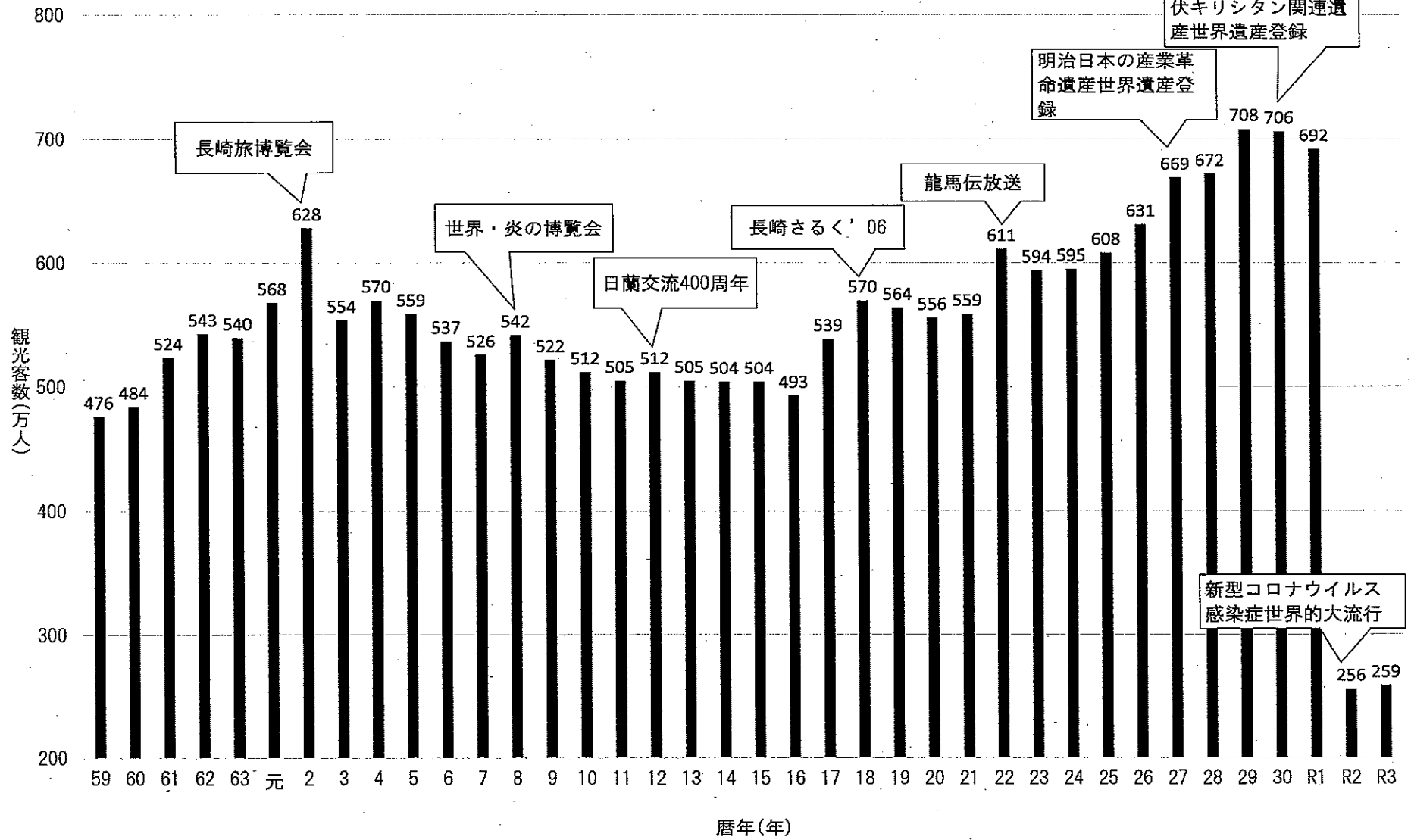
【単位：億円、人、％】

項目	令和2年	令和3年	前年比増減
総合効果 (①+②)	890	907	1.9
直接効果…①	534	546	2.2
飲食・娯楽サービス	311	327	5.1
宿泊業	149	152	2.0
商業ほか	74	67	▲ 9.5
波及効果…②	356	360	1.1
間接1次波及効果	230	235	2.2
間接2次波及効果	126	125	▲ 0.8
就業誘発効果(就業者誘発数)	10,374	10,616	2.3

※四捨五入の関係により、合計が一致しない箇所がある。

参 考 资 料

1 観光客数の推移



2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

施設名	令和元年	令和2年	令和3年	前年比増減
グラバー園	852,826	324,330	254,514	▲21.5
出島	500,811	213,732	179,491	▲16.0
原爆資料館	737,772	282,775	296,584	4.9
合計	2,091,409	820,837	730,589	▲11.0

※ 入場者数には無料入場者も含む。

3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

(1) 集客数

【単位：人、％】

イベント名	令和元年	令和2年	令和3年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	980,000	560,000	中止	▲100
長崎帆船まつり	226,000	中止	中止	-
合計	1,206,000	560,000	-	▲100

(2) 経済波及効果

【単位：千円、％】

イベント名	令和元年	令和2年	令和3年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	9,238,000	5,604,000	中止	▲100.0
長崎帆船まつり	991,000	中止	中止	-
合計	10,229,000	5,604,000	-	▲100.0

4 宿泊施設の状況

(1) 種別による部屋数及び収容人員(令和3年11月1日現在)

【単位：軒、室、人】

種別	施設数	室数				収容人員			
		和室	洋室	和洋室	計	和室	洋室	和洋室	計
ホテル	62	112	2,293	107	2,512	625	4,849	573	6,047
旅館	32	560	240	50	850	2,303	570	265	3,138
ビジネスホテル	29	53	2,219	10	2,282	162	3,200	45	3,407
民宿・ ペンション	28	194	55	19	268	398	121	35	554
ユースホステル ・ホステル	10	2	132	13	147	36	157	52	245
公営宿泊施設 ・保養所	10	33	87	10	130	130	501	66	697
計	171	954	5,026	209	6,189	3,654	9,398	1,036	14,088

(2) 種別・規模別の宿泊施設数(令和3年11月1日現在)

【単位：軒】

種別	50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 200人未満	200人以上 300人未満	300人以上 400人未満	400人以上 500人未満	500人以上	計
ホテル	32	8	6	8	6	0	2	62
旅館	22	2	2	2	1	2	1	32
ビジネスホテル	5	10	4	6	1	1	2	29
民宿・ ペンション	25	3	0	0	0	0	0	28
ユースホステル ・ホステル	8	1	1	0	0	0	0	10
公営宿泊施設 ・保養所	6	1	3	0	0	0	0	10
合計	98	25	16	16	8	3	5	171

令和3年長崎市観光統計

長崎市文化観光部観光政策課

〒850-0031

長崎市桜町4-1(長崎商工会館4階)

電話番号 095-829-1152

FAX 番号 095-829-1232

発行：令和4年8月



長 崎 市